



# あかまつ

夢と志をもち、自らをきりひらくたくましい子ども  
まなぶ子 たくましい子 やさしい子  
ホームページアドレス <http://www.tomei-svr.jp/~takarae-syo/html/>  
メールアドレス [takarae-syo@city.tome.miyagi.jp](mailto:takarae-syo@city.tome.miyagi.jp)

令和2年1月8日(水)  
発行責任者 校長 山内 晴子  
登米市中田町宝江新井田字後田22番地  
TEL 34-2144 FAX 34-4313

## 新年を迎えて

校長 山内 晴子

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

いよいよ令和2年(2020年)がスタートしました。東京オリンピック・パラリンピックイヤーですので、今年は日本中が一体となって盛り上がることでしょう。

今年は、子(ねずみ)年。中国の『漢書』では、「子」は、「繁殖する・うむ」という意味をもつ「孳」という字からきておており、新しい生命が種子の中に萌(きざ)し始める状態を表していると言われていています。中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表しているのので、十二支の一番目にそのような意味をもつ「子」がくるということです。ですから、新しい物事や運気のサイクルの始まる年という意味合いをもつのだそうです。今年も子どもたちにとって良い年になってほしいと思います。

本日、第3学期始業式を行いました。どの子どもも明るい表情で、充実した生活を過ごせた様子がうかがえました。ご家庭・地域の皆様のご支援・ご協力のおかげと感謝いたします。ありがとうございます。

さて、始業式で子どもたちに「挨拶」「まとめ」の2つの事を話しました。「挨拶」の「挨」には「心を開く」という意味があり、「拶」には「その心に近づく」という意味があります。あいさつとは、自分の心を開くことで相手の心を開かせ、相手の心に近づいていく積極的な行為なのです。「おはようございます」「ありがとうございます」「さようなら」等、様々な挨拶がありますが、どれも人間関係をスタートさせるためのコミュニケーションの第一歩です。本校では、朝登校するときや下校するとき職員室に顔を出し、挨拶をするという伝統があります。そのような挨拶を大事にしながらかの様な様々な場面でも相手のことを考えた気持ちのよい挨拶を行うよう話しました。



幼・保・小交流会

「まとめ」とは、「自分で考え、まとめる」という意味で、それがとても大切であることを話しました。例えば授業では、学習課題について考え、友だちの考えに触れたり先生の話の聞いたりして自分の考えを再構築して自分の言葉としてまとめることが必要です。人との関わりでも、自分が感じたこと、思ったことなどを自分の言葉としてまとめ、発信することが大切だと話しました。

また、3学期は学年のまとめの時期でもあります。復習したり振り返ったり学び直しをしたり、再度体験したりして、しっかり自分の「まとめ」を表してほしいと話しました。そうすることが次の学年にあがる準備にもなるのだと伝えました。

この2つのことを意識させて子どもたちを伸ばしていきたいと考えています。今年も、学校とご家庭・地域の方々「車の両輪」となって、充実した学校運営を推進していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



考えを深める交流